

# 社会福祉法人ながのこころ

## 平成 29 年度 事業報告書

### ○ 社会福祉法人制度改革

平成 29 年度は、定時評議員会において新しい理事構成が定まり、社会福祉法改正後の新制度による理事会・評議員会運営を行った。役員報酬規程の制定・公表、内部留保（社会福祉充実残額）の算定・公表など、一層の透明化を図った。

### ○ 利用者数の状況

入所利用者数は減少した。特養等の介護施設へ移るため退所した方が 3 人、グループホームへ移行した方が 1 人いた一方、新規入所者は、障害の重度化等に併い入所した方が 1 人となっている。

通所利用者数も減少した。高等部卒業者の新規利用が 1 人、他の事業所から移ってきた方が 1 人いたものの、介護施設へ移るため退所した方が 3 人、体調不良で利用を休んでいる方が 1 人いた。

就労継続支援 A 型の利用者では、制作 2 人、生産管理 1 人、製造 1 人を採用した。年度末に、製造 2 人（非雇用者 1 人を含む。）、縫製 1 人が退職した。

### ○ 職員確保のために

アベノミクスによる景気回復から、ハローワークに求人しても応募が少なく職員の確保が難しい状況が続いている。特に、夜勤のある支援職員及び長野福祉工場の営業職・印刷オペレーターの応募者が寡少となっている。

人材獲得と職員定着のため、当期 4 月から施設職員の給与を引き上げた。また、前期 8 月、12 月の 2 度に渡って長野福祉工場の利用者賃金・従業者給与を引き上げている。

これらにより、各事業とも、人件費支出が増嵩し費用を押し上げた。

### ○ 経営概況

- ・ ワークサポート篠ノ井は、生活介護・就労継続支援 B 型の通所利用者の増加及び短期入所の利用日数の増加により収益が増加したものの、ベースアップにより人件費が増加し、経常増減差額は前期比 300 万円減少した。
- ・ ハートフル五明は、利用者の減少により収益が減少し、加えてベースアップにより人件費が増加し、経常増減差額は前期比 753 万円減少した。
- ・ はあてい若槻は、利用日数の減少により収益が減少し、加えてベースアップと職員増及び県社協の退職年金共済の給付があったことにより人件費が大幅に増加し、サービス活動増減差額が赤字に転じ、経常増減差額は前期比 1,260 万円減の△294 万円となった。
- ・ 長野福祉工場の印刷事業は、収益は前期比 13.0%減少、費用は前期比 15.0%減少、経常増減差額は△1,331 万円、当期活動増減差額は△1,668 万円と前期に引続き赤字となったものの、経常増減差額は前期比 1,601 万円改善、当期活動増減差額は前期比 1,152 万円改善した。収益低下に伴い、材料費、仕入高、販管費は圧縮したが、労務費の圧縮幅は低かった。  
縫製事業は、収益は前期比 12.5%増加、費用は前期比 2.0%減少した。経常増減差額は前期比 1,898 万円改善、当期活動増減差額は前期比 1,911 万円改善し、経常増減差額も当期活動増減差額も約 340 万円の黒字に転換した。労務費、外注加工費が増加し製造原価は前期比 1,204 万円上がったが、仕入高を圧縮できたため販売原価は前期比 436 万円下がった。

## I 法人本部（総務部）

### 1 職員の資質向上

- ・職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修を積極的に実施した。
- ・ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力・派遣を行った。

### 2 感染症や災害の対策

- ・消防計画に基づき、篠ノ井施設・若槻施設で各2回の防災訓練を実施した。2回目の防災訓練では、消防署の指導の下、連携強化を図るため災害等協力応援協定を結んでいる地元地区住民の協力を得て実施した。
- ・インフルエンザ蔓延を防止するため、インフルエンザと診断された職員の出勤に際し、感染力がなくなったことの確認を徹底した。

### 3 地域住民との交流機会拡大

- ・広報を行い、大勢の地元団体・住民の参加を得て、コロニー祭・コロニーまつりを開催した。
- ・地域で開催される行事へは、自主製作販売を主体として、積極的に参加した。
- ・広報誌やインターネットで情報を発信した。  
「広報誌 ながのコロニー」No.10、No.11 発行  
「コロニーだより」第20号、第21号発行
- ・ホームページへ法人の情報を掲載した。

### 4 健康で働きやすい職場環境

- ・全職員対象に職員定期健康診断を実施した。深夜業務従事職員に対しては、年2回の健康診断を実施した。
- ・ストレスチェックを実施し、事業所ごとの傾向を分析し、改善の参考とした。
- ・安全衛生委員会等の職場巡視を毎月実施した。
- ・ハラスメント行為の禁止のため、ハラスメント研修を実施した。

### 5 長期的かつ安定的な人材確保

- ・キャリアパス導入の研究はできなかった。

## II ワークサポート篠ノ井（指定障害者支援施設）

### 【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40人	29人	28.0人月
生活介護	44人	45人	48.3人月
就労移行支援	6人	2人	1.5人月
就労継続支援B型	10人	9人	10.3人月
短期入所	2人	—	延べ288人日

## 1 施設入所支援

- ・入所利用の状況に応じた適切に必要な支援と介助を提供した。
- ・介護保険施設等の利用を希望される方に対して、これからの暮らし方の選択のために必要な情報提供と提案をした。

## 2 生活介護

### (1) 生産活動

- ・やりがい、意欲、責任感を持っていただくため、納期や目標生産数を掲示又は伝え、利用される方が主体となって生産活動に取り組めるように支援した。
- ・適性に合わせた生産活動の提供するため、緑地管理作業の契約を解除し、屋内作業の充実に努めた。
- ・事業者と連携を深めることで安定した作業量の提供ができ、昨年度並みの工賃確保ができた。

### (2) 生活面

- ・安心して過ごせる暮らしの場の提供に努めた。
- ・介護保険施設等の利用を希望された方に対して、必要な情報を提供し、また見学に同行支援した。
- ・居室の衛生保持のため定期的に全居室の掃除を行い、必要な方に対しては個別に掃除を行い、居室の整理整頓が意識できるよう支援した。
- ・健康管理や改善に向けた支援については、入浴日以外の足浴や下半身浴をすることで病気の予防や身体衛生を意識できるよう支援した。
- ・口腔ケアについては、個別の口腔内の状況把握を行ったが、口腔ケアの必要性の啓発のための講座開催はできなかった。
- ・余暇の情報が必要な方に対して、個別に情報提供を行った。

## 3 就労移行支援

### (1) 日中活動

- ・既存作業、施設外就労などニーズに応じた支援をした。
- ・関係機関と連携し、必要に応じて情報の収集・提供をした。

### (2) 生活面

- ・新規に利用される方に対して生活のリズムを整え安定し利用できるよう支援した。
- ・保護者と密に連絡を取り合い、ご家庭での様子も把握しながら支援に努めた。

## 4 就労継続支援B型

### (1) 日中活動

- ・利用される方が主体となって生産活動に取り組み、やりがい、意欲、責任感を持って取り組めるよう支援した。
- ・事業者と連携を深めることで安定した作業量の提供ができ、昨年度並みの工賃確保ができた。

### (2) 生活面

- ・保護者と密に連絡を取り合い、ご家庭での様子も把握しながら支援に努めた。

## 5 短期入所

- ・入浴や掃除、洗濯等の生活面において、ご自身のできることを増やす支援に努めた。
- ・延べ利用者数 288 人

## 6 保健

### (1) 疾患の早期発見

- ・定期健康診断を実施した。
- ・予定通り嘱託医の診察を月1回実施し、必要に応じて紹介状を依頼、受診した。

### (2) 状況にあった支援

- ・情報を共有した。
- ・日々の検温、血圧測定や必要に応じてチェック表を用いて把握した。
- ・衛生保持の必要性を啓発し、実行困難な利用者には直接介助を行った。

### (3) 感染症対策

- ・インフルエンザ接種不可の1名を除き、全員接種できた。
- ・施設外の研修参加と施設内研修を実施し、知識を習得した。

### (4) 医療ケア

- ・手順を統一・周知し、確実に実施した。

## 7 給食

### (1) 楽しく温かい食事

- ・身体状況に応じた食事提供をした。
- ・季節感のある献立、行事食を取り入れた献立作成を行った。

### (2) 身体状況により適切な栄養ケア

- ・支援員・看護師・栄養士が互いに情報の共有をした。
- ・間食の摂り方や休日の欠食の改善指導は行ったが、改善に至らない方もいた。
- ・療養食の提供をした。

### (3) 安全で安心な食事

- ・配膳・介助時の衛生状態に細心の注意を払い実施した。
- ・食事摂取状況の観察、適切な栄養量の確保ができた。

### (4) 満足度の高い食事

- ・嗜好調査、個別面談を入所されている方全員に実施した。
- ・個別面談で意見や要望の取り入れを行った。
- ・定期的な話合は晝会が休止状態のためできなかった。

### (5) 感染症対策

- ・インフルエンザ発生時、感染の拡大を防止するため、食事場所や時間を変更し、食事提供をした。

### (6) 委託事業者との連携

- ・細心の注意を払い、衛生的かつ安全な給食を提供した。
- ・個別対応の食事提供をした。

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	9,820 人	10,647 人	△827 人	92.2%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	年間平均利用者数	26.9 人日	29.2 人日	△2.3 人日	92.1%
	平均利用率	67.3%	73.0%	△5.7 ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	11,545 人	11,262 人	283 人	102.5%
	開所日数	269 日	269 日	0 日	100.0%
	年間平均利用者数	42.9 人日	41.9 人日	1.0 人日	102.4%
	平均利用率	97.5%	95.2%	2.3 ポイント	—
就労移行支援	延べ利用者数	316 人	475 人	△159 人	66.5%
	開所日数	183 日	241 日	△58 日	75.9%
	年間平均利用者数	1.7 人日	2.0 人日	△0.3 人日	85.0%
	平均利用率	28.3%	33.3%	△5.0 ポイント	—
就労継続支援 B 型	延べ利用者数	2,153 人	1,635 人	518 人	131.7%
	開所日数	269 日	269 日	0 日	100.0%
	年間平均利用者数	8.0 人日	6.1 人日	1.9 人日	131.1%
	平均利用率	80.0%	61.0%	18.9 ポイント	—
短期入所	延べ利用者数	288 人	202 人	86 人	142.6%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	年間平均利用者数	0.8 人日	0.6 人日	0.2 人日	133.3%
	平均利用率	40.0%	30.0%	10.0 ポイント	—

【売上高】

(単位 円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	11,705,182	10,728,000	109.1%
		※ 14,270,607	98.8%
就労移行支援	228,003	600,000	38.0%
		451,790	50.5%
就労継続支援 B 型	2,933,577	1,550,000	189.3%
		1,969,950	148.9%

※内部取引 2,421,740 円を含む。

【工賃】

(単位 円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	9,984,881	9,821,522	160,880	101.7%
	平均月額	17,211	17,665	△454	97.4%
就労移行支援	総額	195,020	451,790	△256,770	43.2%
	平均月額	9,751	18,072	△8,321	54.0%
就労継続支援 B 型	総額	2,558,010	1,969,950	588,060	129.9%
	平均月額	20,629	18,898	1,731	109.1%

### Ⅲ ハートフル五明（指定障害者支援施設）

#### 【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40 人	28 人	26.9 人月
生活介護	40 人	30 人	27.8 人月

#### 1 日常生活上の支援

##### (1) 介護

- ・利用者の状態に合わせた介護支援体制は目の行き届かない部分があり、改善が必要な部分があった。
- ・体の状態を確認したことで早めに皮膚疾患や傷を発見でき、速やかに対応できた。

##### (2) 入浴

- ・要介助者に週3～4回実施した。
- ・座位保持が難しい利用者に対し、ストレッチャー浴（男性2名）を行った。
- ・体の状態の確認を行い、安心して快適に入浴できるよう努めた。

##### (3) 外出

- ・皆さんの意見や希望を十分に取り入れるには至らなかったが、姨捨のサービスエリアに食事に出かける等、利用者の皆さんの身体状況にあった場所を選択した。

##### (4) 機能維持訓練

- ・活動開始前の体操は早番が対応し、皆さんの活動がスムーズに始められた。
- ・必要な方に対して機能維持訓練を行った。
- ・嚥下予防のための体操を行い、嚥下の予防に努めた。
- ・生活不活発病予防のため体操を行った。

##### (5) 通院付き添い

- ・定期通院を実施した。
- ・体調不良時には囑託医に相談、指示を仰ぎ、大事には至らなかった。
- ・看護師、支援員共に連携し、効率的な通院に努めた。

#### 2 日中活動の支援

- ・季節に応じ、皆さんのご希望に沿う活動を提供することに努めた。
- ・外部講師の依頼はできなかった。
- ・陶芸品・ゴム編み等の自主生産品は、作業の担い手の身体状況や退所により生産が減少した。
- ・作業内容、製品の販売方法について検討したが、引き続き検討が必要である。

#### 3 保健

##### (1) 疾患の早期発見

- ・健康づくり事業団による健診を実施し、異常者はなかった。
- ・専門医による定期検診を実施し、変化はなかった。
- ・定期健康診断を実施した。
- ・支援員・栄養士と情報を共有した。

##### (2) 囑託医との連携

- ・月1回の診察は予定どおり実施した。
- ・必要に応じて依頼・受診した。

##### (3) 感染症対策

- ・インフルエンザ予防接種を全員実施した。副作用はなかった。
  - ・施設外研修参加と施設内研修を実施し、知識習得をした。
  - ・現場での感染予防マニュアルを作成し、予防啓発した。
- (4) 寝たきり状態の対応
- ・エアベットを導入、定期的体位交換により、合併症の発生を抑止できた。
  - ・環境整備及びサイドガードの使用により、転落はなかった。
- (5) 医療ケア
- ・手順を統一・周知し、確実に実施した。

#### 4 給食

- (1) 楽しく温かい食事
- ・身体状況に応じた食事を提供できた。
  - ・季節感のある献立を立て、行事食を取り入れた。
- (2) 身体状況により適切な栄養ケア
- ・支援員・看護師・栄養士が互いに情報を共有した。
  - ・間食の摂り方や休日の欠食の改善を指導したが、改善に至らない利用者の方もいた。
  - ・療養食の提供をした。
- (3) 安全で安心な食事
- ・配膳・介助時の衛生状態に最新の注意を払った。
  - ・食事摂取状況の観察や適切な栄養量の確保ができた。
- (4) 満足度の高い食事
- ・嗜好調査、個別面談の実施を行った。
  - ・利用者の方々との定期的な話し合いは暁会が休止状態のためできなかった。
  - ・意見や要望の取り入れは個別面談で行った。
- (5) 感染症対策
- ・インフルエンザ発生時に食事場所や食事の時間を変更し、感染の拡大を防止した。
- (6) 委託事業者との連携
- ・衛生的かつ安全な給食を提供するために、細心の注意を払い業務を行った。
  - ・個別対応の食事提供ができた。

#### 5 その他

- ・支援員の確保については、充足できなかった。
- ・職員体制・勤務形態の見直しを検討したが、引き続き検討する必要がある。
- ・施設体系の変換・基盤作りを検討したが、引き続き行う。

#### 【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	9,630 人	10,318 人	△688 人	93.3%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	年間平均利用者数	26.4 人日	28.3 人日	△1.9 人日	93.3%
	平均利用率	66.0%	70.8%	△4.8 ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	7,252 人	7,730 人	△478 人	93.8%
	開所日数	269 日	269 日	0 日	100.0%
	年間平均利用者数	27.0 人日	28.7 人日	△1.7 人日	94.1%
	平均利用率	67.5%	71.8%	△4.3 ポイント	—

#### IV はあてい若槻（多機能型事業所）

##### 【利用者数】

区分	定員	計画	実績
生活介護	16人	14人	12.7人月
就労継続支援B型	25人	21人	21.4人月

##### 1 生活介護

- ・日中活動として、生産活動及び創作活動を充実し取り組むことができた。
- ・生産活動は、皆さんの体調やペースに合わせた作業を提供することができた。
- ・創作活動は、月2回の音楽療法や月1回のお話し読み聞かせ等、外部の方をお呼びし、皆さんに楽しんでいただいた。

##### 2 就労継続支援B型

- ・取引事業者から早めに情報収集を行い、効率良い作業を心がけて進めることができたが、目標工賃には達することができなかった。
- ・施設外就労の経験を施設内作業に応用できるよう支援した。今後も進めていく。
- ・関係団体（SELP等）と連携を図り、作業の安定的な受注ができた。
- ・工賃実績は、次のとおり。

##### 【売上】 (単位 円)

当期実績	当期計画	計画達成率
	前期実績	前期比
4,805,679	5,088,000	94.5%
	5,156,733	93.2%

##### 【工賃】 (単位 円)

区分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
総額	4,391,095	4,852,889	△461,794	90.5%
平均月額	17,154	19,106	△1,952	89.8%

##### 【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数	2,488人	2,582人	△94人	96.4%
	開所日数	253日	253日	0日	100.0%
	年間平均利用者数	9.8人日	10.2人日	△0.4人日	96.1%
	平均利用率	61.3%	63.8%	△2.5ポイント	—
就労継続支援B型	延べ利用者数	4,765人	4,860人	△95人	98.0%
	開所日数	254日	253日	1日	100.4%
	年間平均利用者数	18.8人日	19.2人日	△0.4人日	97.9%
	平均利用率	75.2%	76.8%	△1.6ポイント	—



### 3 その他

- ・多機能型事業所として、各事業のサービス内容と目的に沿った支援のため、職員が利用者支援の専門性を認識し、サービスの質の向上を図ることができた。
- ・個別支援計画に基づき利用者の皆さんのニーズを把握し、それぞれの障害特性に応じた支援を行うことができた。

## V 長野福祉工場 就労継続支援A型事業所

### 【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
就労継続支援 A 型	40 人	37 人	36.5 人月

### 1 印刷事業

- ・売上：計画 3 億 5,500 万円、実績 3 億 1,394 万円
- ・加工高：計画 1 億 5,500 万円、実績 1 億 3,102 万円
- ・営業力強化  
営業職員を求人したが採用できなかった。新人に対して積算の研修と経験職員が同行して営業の実習を行った。
- ・制作力強化  
制作職員を 2 名採用した。職場内でデザイン研修を行った。
- ・受注販売等システムの更新、機械等の更新  
売上・生産総合管理システムの導入を決定し、2 月から基本設定の作業を開始した。  
公益財団法人 JKA の補助を受けて、オンデマンド印刷機を導入した。
- ・ロス削減、効率化、クレーム抑止  
作業指示書を見ていないで再作業が発生している。その都度、再作業の原因を把握し、再発防止に努めたが、再発している。  
業務ごとのマニュアルは大体できているが、新規導入機のマニュアルは未作成  
大きなクレームはなかった。
- ・印刷オペレーターの育成  
できなかった。
- ・印刷事業の方向性  
検討はしたが、具体的方向は見いだせていない。

### 2 縫製事業

- ・売上：計画 1 億 3,000 万円、実績 1 億 5,001 万円
- ・加工高：計画 3,300 万円、実績 4,672 万円
- ・縫製職員確保  
縫製職員を求人し、2 名の採用を内定した。
- ・計画的受注生産  
計画的な受注で、生産業務量を年間平準化した。
- ・ロス削減  
機械のメンテナンス、時間や資材ロスの削減に努め、粗利を確保した。  
作業の見直しはしたが、マニュアルの作成には至らなかった。

### 3 新規事業展開の検討

- ・新規事業の検討はできなかった。

### 4 福祉事業

- ・A型事業所の支援職員としての意識とスキル向上  
外部研修に出席した。サービス管理責任者によるOJTはできなかった。
- ・支援の専門性の向上  
精神保健福祉士等の資格取得の費用を助成した。  
法令研修はできなかった。
- ・後継者の確保  
特別支援学校でミシンを使う体験学習を検討した。
- ・利用者の安定した就労  
健康状態を把握し、状態に応じた生活指導と作業指導を行った。

#### 【設備投資】

(単位 円)

設 備	計 画		実 績		
	数量	金 額	数量	金 額	うち補助金
売上生産総合管理システム	1 式	6,750,000	1 式	10,999,800	0
温水洗浄便座取付工事	2 箇所	370,000	2 箇所	443,145	0
断裁機基盤取替	1 式	2,210,000	—	—	
オンデマンド印刷機	1 台	6,680,000	1 台	3,726,000	2,794,500
営業車両(更新)	1 台	1,300,000	—	—	
パソコン(印刷課)	6 台	1,070,000	6 台	1,032,480	0
パソコン(縫製課)	2 台	100,000	—	—	
帯掛機	1 台	620,000	—	—	

※ 売上生産総合管理システムは、当初購入の計画であったものを第7回理事会でリース契約への変更及び導入価額の変更を決定した。

#### 【売上高】

(単位：千円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	313,937	355,000	88.4%
		356,070	88.2%
縫製	150,012	155,000	96.8%
		133,321	112.5%
特例	1,158	—	—
		1,482	78.1%

## 【加工高】

(単位：千円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	131,020	155,000	84.5%
		139,626	93.8%
縫製	46,721	33,000	141.6%
		25,451	183.6%
特例	776	—	—
		1,096	70.8%

## 【賃金・工賃】

(単位 円)

区 分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金(総額)	62,521,967	62,650,023	△128,056	99.8%
賃金(平均月額)	146,765	137,390	9,375	106.8%
特例工賃(総額)	254,810	246,602	8,208	103.3%
特例工賃(平均月額)	21,234	20,550	684	103.3%

## 【利用者数】

区 分	当期実績	前期実績	増 減	前期比
延べ利用者数	8,050 人	8,025 人	25 人	100.3%
開所日数	242 日	242 日	0 日	100%
年間平均利用者数	33.26 人	33.16 人	0.1 人	100.3%
平均利用率	83.2%	82.9%	0.3 ポイント	—

## VI 地域生活支援センターコロニー (共同生活援助事業所)

## 【利用状況】

区 分	定員	計画	当期実績	バックアップ施設
さいなみほ一む	4 人	3 人	3.0 人	ワークサポート篠ノ井
うわのほ一む	4 人	4 人	4.0 人	はあてい若槻
グループホームせはらだ	4 人	3 人	4.0 人	ワークサポート篠ノ井

- ・担当支援員及び世話人が連携を取りながら関わり、利用者は安定した状況で地域生活を送ることができた。
- ・上野地区でのグループホーム増設については、引き続き取り組んでいく。

## Ⅶ あいくる（指定相談支援事業所）

### 【利用状況】

区 分			当期実績	前期実績	増減	前期比	
延べ利用者数	計画相談支援	特定	サービス利用支援	125人	94人	31人	133.0%
			モニタリング	139人	176人	△37人	79.0%
	児童		サービス利用援助	20人	16人	4人	125.0%
			モニタリング	23人	28人	△5人	82.1%
	地域相談支援 一般・地域移行支援			8人	3人	5人	266.7%
障害支援区分認定調査			21人	10人	11人	210.0%	

- ・関係機関との連携を図り進めることができた。
- ・地域移行・定着支援事業について、情報交換することはできたが、十分ではなかった。

## Ⅷ すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

### 【利用者数】

区 分	計画（登録者）	利用実績
放課後等デイサービス	14人	14.6人月
自立サポート	14人	5.2人月
タイムケア	7人	3.0人月

- ・個別支援計画をもとに成長・ニーズを把握し、支援の共有化を図り、支援することができた。

### 【放課後等デイサービス利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	926人	643人	283人	144.0%
開所日数	241日	202日	39日	119.3%
年間平均利用者数	3.8人日	3.2人日	0.6人日	118.8%

※前期は、平成28年6月1日から事業開始。

## Ⅸ ふれんど 障害児自立サポート事業所

### 【利用者数】

区 分	計画（登録者）	利用実績
自立サポート	4人	3.0人月

- ・ふれんど利用者が事業所を利用できた。
- ・利用される方の希望を尊重し、成長・発達を考えた支援をすることができた。

## 平成 29 年度 会議及び行事等報告書

### 1 役員会等

#### (1) 理事会

29.05.29	第 1 回	平成 28 年度事業報告・決算、役員等報酬規程、平成 29 年度資金収支補正予算（第 1 号） 他	篠ノ井施設
29.06.14	第 2 回	理事長選定	篠ノ井施設
29.08.02	第 3 回	平成 29 年度資金収支補正予算（第 2 号） 他	篠ノ井施設
29.09.28	第 4 回	給与規程の一部改正 他	篠ノ井施設
29.11.15	第 5 回	評議員会の召集	(書面決議)
29.11.30	第 6 回	第 4 回 平成 29 年度資金収支補正予算（第 3 号） 他	篠ノ井施設
30.01.19	第 7 回	売上・生産総合管理システムの導入契約 他	篠ノ井施設
30.03.22	第 8 回	平成 30 年度事業計画書、平成 30 年度資金収支予算書、平成 29 年度資金収支補正予算（第 4 号） 他	篠ノ井施設

#### (2) 評議員会

29.06.14	第 1 回	平成 28 年度事業報告・決算、理事及び監事の選任 他	篠ノ井施設
29.11.30	第 2 回	平成 29 年度中間決算の報告	篠ノ井施設
30.03.27	第 3 回	平成 30 年度事業計画書及び平成 30 年度資金収支予算書の報告、理事の選任 他	ふれあい福祉センター

#### (3) 監査会

29.04.03	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設・長野福祉工場
29.05.09	決算監査	長野福祉工場
29.05.12	決算監査	篠ノ井施設
29.11.14	平成 29 年度中間監査（全般）	篠ノ井施設・長野福祉工場

### 2 会議及び行事等

定期開催	経営会議（毎月開催）	篠ノ井施設・若槻施設
	運営会議（毎月開催）	篠ノ井施設
	安全衛生委員会（月 1 回）	長野福祉工場
	衛生委員会（月 1 回）	篠ノ井施設・若槻施設
	職員会議（月 1 回）	篠ノ井施設・若槻施設
	ミーティング（月 2 回）	篠ノ井施設
	スタッフミーティング（月 2 回）	長野福祉工場
29.04.05	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
29.04.05	春の利用者健康診断 ～6 日	篠ノ井施設
29.04.07	保護者説明会 ～8 日	はあてい若槻
29.04.15	「境内アート小布施×苗市」出店 ～16 日	小布施町
29.04.17	はあてい若槻お花見食事会(利用者 31 名、職員 10 名)	はあてい若槻食堂
29.04.22	ながのコロニー後援会 会計監査・総会	篠ノ井施設
29.05.18	防災訓練	篠ノ井施設・若槻施設
29.05.18	篠ノ井消防署塩崎分署による「グループホームせはらだ」立入検査	グループホームせはらだ

29.05.18	もんぜんぷら座販売会（偶数月実施年度内計5回）	長野市もんぜんぷら座
29.05.28	「ながの軽トラ市 in 篠ノ井」出店（11月まで計6回）	篠ノ井駅前通り
29.06.10	第7回関東甲信越フロアホッケー競技大会	長野市ホワイトリング
29.06.16	はあてい若槻グループ行楽（利用者26名、職員7名）	山梨方面
29.06.22	長野建設事務所・長野市による土砂災害防止月間現地指導	はあてい若槻
29.06.25	軽トラ市（6～11月、7月除く）	篠ノ井駅前
29.06.27	利用者結核検診	篠ノ井施設
29.07.20	ハートフル五明日帰り行楽1班（利用者8名、職員4名）	姨捨サービスエリア
29.07.20	長野市福祉監査室による指導監査	長野福祉工場
29.07.21	篠ノ井消防署による「さいなみほ～む」立入検査	さいなみほ～む
29.07.21	職員定期健康診断	長野福祉工場
29.07.22	第43回ながのアビリンピック（長野県障がい者技能競技大会） 長野福祉工場利用者 3名参加	松本市
29.07.24	はあてい若槻サマーパーティー(利用者30名、職員11名、後援会1名)	須坂市（すたみな太郎）
29.07.25	ハートフル五明日帰り行楽2班（利用者10名、職員5名）	姨捨サービスエリア
29.07.27	ハートフル五明日帰り行楽3班（利用者7名、職員4名）	姨捨サービスエリア
29.07.22	平成29年度長野県障害者技能競技大会(第43回ながのアビリンピック)（福祉工場利用者3名、はあてい利用者1名）	松本総合体育館
29.08.02	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
29.08.06	瀬原田地区ふれあい区民まつり参加（グループホームせはらだ利用者）	瀬原田地区
29.08.08	納涼祭・盆踊り（利用者78名、後援会員2名、地域20名、マンドリン32名、踊り8名）	篠ノ井施設
29.08.09	けんぽ協会長野支部保健師による保健指導	篠ノ井施設・若槻施設
29.08.10	深夜業従事職員健康診断	長野県健康づくり事業団
29.08.14	「五明地区納涼盆踊り大会」にて自主製品販売	五明南公民館
29.09.12	「かなやの里療護園」、「さいはま園」見学（利用者7名、職員3計10名）	上越市
29.09.20	鶴賀消防署若槻分署によるうわのほ～む立入検査	うわのほ～む
29.09.24	「五明区布制神社秋祭り(本祭)」にて自主製品販売	布制神社
29.10.07	第40回コロニー祭（来場者約1000名、後援会員20名）	篠ノ井施設
29.10.12	秋の利用者健康診断 ～13日	篠ノ井施設
29.10.14	「長養祭」にて自主製品販売	長野養護学校
29.10.17	防災訓練（消防署・地区の参加）	篠ノ井施設
29.10.19	防災訓練（消防署・地区の参加）	若槻施設
29.10.20	第48回衆議院議員総選挙・第24回最高裁判所裁判官国民審査不在者投票	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明
29.10.21	第3回交流型技能競技大会（ゼンコロ版アビリンピック）長野福祉工場利用者2名出場	福岡コロニー
29.10.22	「篠ノ井地区住民福祉大会」にて自主製品販売	長野グリーンパレス
29.10.24	ワークサポート篠ノ井グループ行楽(利用者50名、職員14名)	松本・安曇野周辺
29.10.24	ハートフル五明秋の行楽（魚の解体ショー）（利用者27名、職員9名）	篠ノ井施設食堂

29.10.26	長野市長選挙及び長野市議会議員補欠選挙不在者投票	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明
29.10.28	第8回コロニーまつり（来場者約250名、後援会員17名）	食堂
29.10.28	「ハーモニー夢まつり」にて自主製品販売	長野市
29.11.01	第37回全国障害者技能競技大会長野県選手団結団式	長野県庁
29.11.15	職員・利用者（希望者）定期健康診断	はあてい若槻
29.11.16	職員定期健康診断	篠ノ井施設
29.11.18	第37回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック) (DTP部門) 福祉工場利用者1名 (クリーニング部門・デモンストレーション)はあてい利用者1名	栃木県宇都宮市
29.12.08	売上生産総合管理システムプレゼンテーション 4社	長野福祉工場
29.12.12	働き方・休み方改善コンサルトの個別訪問受入れ（長野公共職業安定所1名）	長野福祉工場
29.12.12	長野市福祉監査室による指導監査	地域生活支援センターコロニー
29.12.20	売上生産総合管理システム入札 4社	長野福祉工場
29.12.21	ワークサポート篠ノ井忘年会	テラスグランツ
29.12.21	ハートフル五明忘年会	篠ノ井施設食堂
29.12.29	はあてい若槻忘年会	みーるマーマ
29.12.31	はあてい若槻「就労移行支援」廃止	はあてい若槻
30.01.09	ワークサポート篠ノ井利用者成人式	篠ノ井施設食堂
30.01.16	長野市福祉監査室による実地指導	はあてい若槻
30.01.23	長野県長野保健福祉事務所福祉課による実地指導	すまいる
30.01.24	篠ノ井消防署塩崎分署による立入検査	篠ノ井施設
30.02.21	長野市消防局によるうわのほ〜む消火設備点検	うわのほ〜む
30.02.27	篠ノ井消防署塩崎分署による立入検査	篠ノ井施設
30.03.06	長野市による大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設立入検査	篠ノ井施設
30.03.07	エレベーター脱出訓練	篠ノ井施設
30.03.10	ながのコロニー後援会役員会	篠ノ井施設

### 3 福祉現場実習・研修受入

29.05.17	稲荷山養護学校更級分教室校外実習	篠ノ井施設
29.06.05	社会貢献体験<ボランティア活動>1名（カレッジオブキャリア3年生）～17日（延べ10日間）	ワークサポート篠ノ井
29.06.05	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～6月9日（延5日間）	ワークサポート篠ノ井
29.06.06	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～23日（延14日）	はあてい若槻
29.06.14	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～16日（延3日間）	ワークサポート篠ノ井
29.06.15	体験実習1名（利用検討者）～22日（延3日間）	はあてい若槻
29.06.20	稲荷山養護学校更級分教室校外実習	篠ノ井施設
29.06.21	体験利用1名～22日（延べ2日間）	はあてい若槻
29.07.03	職場実習1名（信大附属特別支援学校高等部2年生）～10日（延6日間）	はあてい若槻

29.07.04	職場体験学習 4 名（篠ノ井西中学校 2 年生）～5 日（延べ 2 日間）	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明
29.07.19	稲荷山養護学校更級分教室校外実習	篠ノ井施設
29.07.21	職場体験学習 3 名（広徳中学校 2 年生）	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明
29.07.26	職場体験学習 1 名（東部中学校 2 年生）～27 日（延 2 日間）	はあてい若槻
29.07.26	工場見学 27 名（若槻擁護学校）	長野福祉工場
29.07.31	ボランティア（須坂看護専門学校 1 年生）～8 月 2 日（延べ 3 日間）	すまいる
29.08.30	稲荷山養護学校更級分教室校外実習	篠ノ井施設
29.09.25	特別実習 1 名（長野養護学校高等部 3 年生）～29 日（延 5 日間）	はあてい若槻
29.09.27	稲荷山養護学校更級分教室校外実習	篠ノ井施設
29.10.04	職場体験 1 名	長野福祉工場
29.10.12	職場体験学習 2 名（北部中学校 2 年生）～13 日（延 2 日間）	はあてい若槻
29.10.23	職場実習（若槻養護学校高等部 3 年生）～27 日（延べ 5 日間）	ワークサポート篠ノ井
29.10.30	現場実習 1 名（花田養護学校高等部 3 年生）～11 月 2 日（延 4 日間）	ワークサポート篠ノ井
29.11.06	産業現場等実習 1 名（稲荷山養護学校高等部 3 年生）～10 日（延 5 日間）	ワークサポート篠ノ井
29.11.07	後期現場実習 1 名（長野養護学校高等部 3 年生）～24 日（延 13 日間）	はあてい若槻
29.11.16	後期現場実習 1 名（長野養護学校高等部 3 年生）～24 日（延 6 日間）	はあてい若槻
29.11.20	就労アセスメントのための利用（稲荷山養護学校高等部 3 年生）～30 日（延べ 6 日間）	ワークサポート篠ノ井
29.11.21	施設見学（長野養護学校高等部 1 年生・職員）	はあてい若槻
29.11.29	施設見学（稲荷山養護学校高等部 1 年生・職員）	ワークサポート篠ノ井
29.12.08	見学 1 名（長野養護学校保護者）	はあてい若槻
30.01.22	体験実習 1 名（豊野高等専修学校）	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明
30.03.19	就労アセスメントのための利用（稲荷山養護学校高等部 3 年生）～30 日（延べ 6 日間）	ワークサポート篠ノ井